

平成 22 年度
射水市地域提案型市民協働事業
審査会



日 時 平成 22 年 6 月 1 日(火) 午後 2 時
場 所 射水市役所小杉庁舎 303・304 会議室

射水市 市長政策室 まちづくり課

平成 22 年度射水市地域提案型市民協働事業審査会

日時 平成 22 年 6 月 1 日 (火)
午後 2 時

場所 小杉庁舎 303・304 会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 審査委員の紹介
- 4 審査会の進行説明
- 5 団体によるプレゼンテーション
- 6 審査委員長の総評
- 7 閉会

審査会の進行等について

1 発表方法

- ・ 発表時間は1団体7分間とします。
- ・ 審査委員からの質疑応答は8分間です。
- ・ 前の提案団体の質疑応答が始まりましたら、次の提案団体は速やかに発表の準備に取りかかってください。

2 審査基準

- ・ 地域課題や市民ニーズの把握、地域特性
- ・ 役割分担の妥当性
- ・ 期待できる事業効果
- ・ 事業の実現性

3 事業決定

事業決定については、審査会の報告を踏まえ、市長が決定します。

4 発表順

	団体名	事業名	頁
1	黒河地域振興会	みんなで作ろう “芝生広場”	3
2	庄西地域振興会	庄西子供獅子伝承事業	5
3	三ヶ地域振興会	三ヶふるさと再発見事業 ～身近な歴史を語る冊子～	7
4	戸破地域振興会	戸破ふるさと再発見事業 ～身近な歴史を語る冊子～	9
5	橋下条地域振興会	菊づくりの里 橋下条	11

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 黒河地域振興会

事業の名称	みんなで作ろう“芝生広場”	
事業の目的	(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。) 1. 地域コミュニティの形成 2. 子どもや心身の育成 3. エコ意識の向上	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	(どこで、だれを対象とするのか記入ください。) ・ 黒河公民館広場の一部 300㎡ ・ 黒河地区住民
	手法	(いつ、どのように、何をするのか記入ください。) ・ 6月中旬から10月中旬ごろまで、住民参加による芝生の植付け、刈り込み、水撒き、施肥管理を行う。 ・ 地域のコミュニティを高めるため、8月に夜高まつり、10月に地域住民運動会を行う。
	目標	(目的とする結果、数値目標等について記入ください。) 2年目以降、住民(特に、隣接する保育園児)が素足で思いっきり遊べる広場として整備する。
役割分担	(地域振興会が果たす役割) 企画計画、芝付化への住民参加の呼びかけ、植え付けの実施、刈り込み、水撒き、施肥管理、夜高まつり及び住民運動会の実施(協賛) (事業実施に伴う市の役割) 黒河公民館広場芝生化の許可、市職員への参加案内。	
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)	
	6月上旬	広場設計協議
	6月中旬	芝生の植付け
	7月上旬～10月中旬	芝生の刈り込み、水撒き、施肥
	8月下旬	黒河夜高まつり(協賛)
	10月上旬	黒河地区住民運動会(協賛)
	10月中旬	芝生が全面に広がる予定

<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもや心身の育成 子どもが素足で思いっきり運動ができ、また大人たちも一緒に運動ができる場所を確保することで、心身ともに健全育成を図る。 2. 地域コミュニティの形成 住民参加で実施することで、地域全体の一体感の充実がより一層高まる。また、地域で子どもたちを見守る意識の向上を図る。 3. エコ意識の向上 芝生の植栽により、約 3 度温度が下がるとされており、エコ意識の醸成につながる。また、現在の広場は緩やかな傾斜があり、風雨により土が流出する傾向にあるため、芝生化することで流出防止につながる。
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館広場を利用している各種団体とも相談し、理解を得ながら全面芝生化目指したい。 ・ 児童公園等の身近な公共施設も芝生化を図り、エコ対策を図る。

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 庄西地域振興会

事業の名称	庄西子供獅子伝承事業	
事業の目的	<p>(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。)</p> <p>郷土芸能の六渡寺獅子舞を子供たちに伝承しようと庄西獅子保存会の指導員の方々が指導にあたっています。</p> <p>本年4月から中伏木小学校が廃校となり新湊小学校へ移り、今までのように学校裁量の時間や総合的な学習の時間に3～6年生全児童が郷土教育の一環として学んでいたことが出来なくなっており、地元で「庄西子供獅子」の練習や活動の場を広め地域の子供として地域の人々の中でその成果を披露し、地域（公民館祭り）、社会（市の行事など）へとその活動の場を広めていきたい。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(どこで、だれを対象とするのか記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄西公民館で地域の3～6年生全児童を対象
	手法	<p>(いつ、どのように、何をするのか記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して庄西獅子保存会の指導員の方々が指導にあたる。
	目標	<p>(目的とする結果、数値目標等について記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土芸能の六渡寺獅子舞を子供たちに伝承 ・ 成果を披露し、地域（公民館祭り）、社会（市の行事など）へとその活動の場を広めていきたい。
役割分担	<p>(地域振興会が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄西獅子舞の指導及び小道具や衣装の提供 	
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報等による啓発 	

<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月 準備期間 ・ 7月1日から23年3月31日 本実施期間
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土芸能の六渡寺獅子舞を子供たちに伝承 ・ 成果を披露し、地域(公民館祭り)、社会(市の行事など)へとその活動の場を広めていきたい。 ・ 庄西子供獅子(六渡寺獅子舞)の啓発ができる。
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 射水市には、先人から引き継がれた祭りがたくさんあり、伝統と文化を今に伝える人々の熱い思いが感じられます。六渡寺獅子舞はもちろんこと庄西子供獅子も地域の特徴となっており、観光客の増加も期待される。 ・ 賑わいと活力のあるまちづくりが図られる。

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 三ヶ地域振興会

事業の名称	三ヶふるさと再発見事業～身近な歴史を語る冊子～	
事業の目的	<p>(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入してください。)</p> <p>私たちが暮らす旧北陸道沿いには、地域があゆんできた歴史を語る多くの有形無形の遺産がある。これらを生かし、未来へ引く継ぐことは、今に生きる私たちの責務である。</p> <p>近年のコミュニティの希薄化や伝承者の高齢化などから、歴史的遺産の由来、謂れなどが忘れ去られつつあり、次世代に引き継ぐため、発掘し、記録保管をする必要がある。</p>	
事業内容	対象	<p>(どこで、だれを対象とするのか記入ください。)</p> <p>旧北陸道沿い地区(戸破地域振興会とは協働する)</p>
	手法	<p>(いつ、どのように、何をするのか記入ください。)</p> <p>昔から語り継がれている身近な地域遺産を掘り起こし、由来・謂れなどを知る先人への聞き取りや地域等に残る古文書・写真等の調査を行い、それらを記録し保管する。</p>
	目標	<p>(目標とする結果、数値目標等について記入ください。)</p> <p>地域の身近な歴史や過去に生きた人々の文化・遺産が未来に引き継がれるよう小冊子やマップの作成や当地域振興会だより掲載等。地区住民への配布する</p>
役割分担	<p>(地域振興会が果たす役割)</p> <p>地域に埋もれた資料等の発掘調査、 先人への聞き取り調査、 調査資料の整理保管、小冊子化</p>	
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>市所有資料の開示、 情報提供、 市職員が参画し、行政と地域とのコーディネーター</p>	

事業スケジュール	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>6月 実行委員会結成</p> <p>7月 基礎調査、課題の設定</p> <p>8月～12月 調査、整理、記録化</p> <p>2月 小冊子化</p> <p>3月 小冊子配布</p>
事業効果	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか)</p> <p>1 忘れ去られようとしている地域の身近な歴史が記録し、生かすことによって地域の歴史・文化を守り、後世へ継承される。また、認知されていない地域の遺産の再発掘が期待される。</p> <p>2 住宅の進出や世帯交代により地域の歴史・文化を知らない住民が増えており、望まれていた知る機会を与えることができる。</p> <p>3 地域の歴史を知ることによって、住民の郷土に対する愛着心がはぐくまれ、地域コミュニティの形成が期待される。</p>
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>三ヶ地域振興会では、地域の歴史と文化を発掘し後世に伝承することは重要と考え、主要な事業の一つに位置づけ取り組んでいる。今回提案の事業もその一つとして取り組もうとするものであり、協働事業終了後も引き続き展開し、逐次小冊子を作成、配布し、将来的には冊子として編纂する。</p> <p>なお、当事業については、旧小杉町の旧北陸道沿いに視点に置いて展開しようとするものであり、この旧北陸道は戸破地区、三ヶ地区に亘っており、2地区が連携し取り組むことが肝要となる。このようなことから、事業の実施にあたっては戸破地域振興会と三ヶ地域振興会が協働することを考えており、今後も展開していく予定である。</p>

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 戸破地域振興会

事業の名称	戸破ふるさと再発見事業～身近な歴史を語る冊子～	
事業の目的	<p>(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入してください。)</p> <p>私たちが暮らす旧北陸道沿いには、地域があゆんできた歴史を語る多くの有形無形の遺産がある。これらを生かし、未来へ引く継ぐことは、今に生きる私たちの責務である。</p> <p>近年のコミュニティの希薄化や伝承者の高齢化などから、歴史的遺産の由来、謂れなどが忘れ去られつつあり、次世代に引き継ぐため、発掘し、記録保管をする必要がある。</p>	
事業内容	対象	<p>(どこで、だれを対象とするのか記入ください。)</p> <p>旧北陸道沿い地区(三ヶ地域振興会とは協働する)</p>
	手法	<p>(いつ、どのように、何をするのか記入ください。)</p> <p>昔から語り継がれている身近な地域遺産を掘り起こし、由来・謂れなどを知る先人への聞き取りや地域等に残る古文書・写真等の調査を行い、それらを記録し保管する。</p>
	目標	<p>(目標とする結果、数値目標等について記入ください。)</p> <p>地域の身近な歴史や過去に生きた人々の文化・遺産が未来に引き継がれるよう小冊子やマップの作成や当地域振興会ホームページへの掲載。地区住民への配布</p>
役割分担	<p>(地域振興会が果たす役割)</p> <p>地域に埋もれた資料等の発掘調査、 先人への聞き取り調査、 調査資料の整理保管、小冊子化</p>	
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>市所有資料の開示、 情報提供、 市職員が参画し、行政と地域とのコーディネーター</p>	

事業スケジュール	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>6月 実行委員会結成</p> <p>7月 基礎調査、課題の設定</p> <p>8月～12月 調査、整理、記録化</p> <p>2月 小冊子化</p> <p>3月 小冊子配布</p>
事業効果	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか)</p> <p>1 忘れ去られようとしている地域の身近な歴史が記録し、生かすことによって地域の歴史・文化を守り、後世へ継承される。また、認知されていない地域の遺産の再発掘が期待される。</p> <p>2 住宅の進出や世帯交代により地域の歴史・文化を知らない住民が増えており、望まれていた知る機会を与えることができる。</p> <p>3 地域の歴史を知ることによって、住民の郷土に対する愛着心がはぐくまれ、地域コミュニティの形成が期待される。</p>
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>戸破地域振興会では、地域の歴史と文化を発掘し後世に伝承する事業に取り組んできている。今回提案の事業もその1つとして取り組もうとするものであり、協働事業終了後も引き続き展開し、逐次小冊子を作成、配布し、将来的には冊子として編纂する。</p> <p>なお、当事業については、旧小杉町の旧北陸道沿いに視点を置いて展開しようとするものであり、この旧北陸道は戸破地区、三ヶ地区に亘っており、2地区が連携し取り組むことが肝要となる。このようなことから、事業の実施にあたっては戸破地域振興会と三ヶ地域振興会が協働することを考えており、今後も展開していく予定である。</p>

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 橋下条地域振興会

事業の名称	菊づくりの里 橋下条	
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 菊づくりの里として橋下条地区のイメージアップをはかる。 2. 高齢者（65歳以上）の生きがい事業の一環とする。 	
事業内容	対象	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地区の一般住民 2. 地区の高齢者（橋下条長寿会員 65才以上）
	手法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が各家庭で菊づくりをする。 1. スプレー菊（初心者用）一鉢を全戸配布 500戸 2. 福助（高さ 40 cm以下）希望対象者 3. 自由花（制限なし） ” ・菊の展示 → 公民館
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・橋下条全戸の 80%の家庭で、スプレー菊づくりに取り組むことを目指す。
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・橋下条地域振興会と橋下条菊花会（会員 16人）とのタイアップによる。 1. 講習会、研修会等の開催 2. 水管理、腐葉土づくり・育苗計画・病虫害の管理等の指導 	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 菊づくり先進地に照会 2. 公民館まつり出展作品の品評 	
事業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 6月下旬 苗の配布（スプレー菊のみ） 2. ” 講習会（3回植替） 3. 9月上旬 研修会（施肥、薬剤散布） 4. 11月上旬 展示（公民館・事業所・店舗） 5. 11月下旬 反省会 	

<p>事業効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 菊づくりは、日々、根気よく世話することが重要なポイントである。高齢者にとっては、それが健康面によく、生きがいとなる。 2. 菊づくりを通して、人との交流を深めることができる。 3. 菊づくり事業が、美しい橋下条地区のイメージアップにつながる。
<p>事業展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、講習会、先進地視察等を開催し、対象者の菊づくりのレベルアップを図る。また、公民館まつり等に対象者全員が出展できるように導き、橋下条全戸の80%がスプレー菊づくりをするよう事業展開をする。